

会 報

No.73 (2002年11月)

目 次

◆第13回評議員選挙について.....	1
◆2001年度会計収支決算報告.....	3
◆2001年度会計監査報告.....	4
◆第25回(2002年)日本分子生物学会年会のお知らせ(その3).....	4
◆第25回総会のご案内.....	7
◆第3回日本分子生物学会春季シンポジウムのご案内.....	7
◆学術賞、研究助成の本学会推薦について.....	8
○2003年度山田科学振興財団研究援助候補推薦要項.....	8
◆各種学術集会、シンポジウム、講習会等のお知らせ.....	10
○第12回アンチセンスシンポジウム.....	10
○青色光生物効果Ⅳ(The Blue Light Syndrome Ⅳ).....	10
○千里ライフサイエンスセミナー ブレインサイエンスシリーズ第15回 「運動神経疾患の治療をめざす基礎と臨床の最先端」.....	10
○第13回抗ウイルス化学療法研究会.....	11
○千里ライフサイエンスシンポジウム「再生医学：実現への期待と課題」.....	11
○千里ライフサイエンスセミナー 「ファーマコジェノミクスと臨床的エビデンス」.....	12
○国際ワークショップ「FGFs and Their Receptors in Health and Disease」.....	12
◆その他.....	13
○畜産技術協会が2003年度に委託する研究開発課題の募集.....	13

日 本 分 子 生 物 学 会

(THE MOLECULAR BIOLOGY SOCIETY OF JAPAN)

URL : <http://wwwsoc.nii.ac.jp/mbsj/>

◆会員名簿の取扱いについて

最近、電話によるマンション等の購入の勧誘で、日本分子生物学会の会員名簿が使われているとの苦情が複数寄せられています。会員名簿は個人情報を含んでおりますので、取扱いには十分な注意を払われますようお願いいたします。

(庶務幹事 荒木 弘之)

◆日本分子生物学会 第13回評議員選挙について

日本分子生物学会会則第11条と同細則第7条によって、第13回評議員選挙を行います。そのため、荒木弘之（遺伝研）、広瀬 進（遺伝研）、佐々木裕之（遺伝研）の3氏が選挙管理委員として会長より委嘱されました。

次いで選挙管理委員3名の打合せを経て、具体的には次のように選挙を行うことになりましたので、会員各位のご協力をお願いいたします。

記

今回の選挙における選挙権者、被選挙権者は、2002年8月31日までに入会手続きを行った正会員とします。同封の「会員名簿」より10名を選んで、その氏名を投票用紙にご記入下さい。投票用紙を同封の小封筒（投票用紙在中と印刷）に入れ、封をした後、同封の送付用封筒（選挙管理委員会御中と印刷）に入れて、ご自分の住所、所属および氏名を記入のうえご送付下さい。

投票締切日：2002年12月2日（月）必着

開票予定日：2002年12月5日（木）

当選者の決定：得票数の多い順に30名を当選者とします。同数得票の場合は年長順とします。

なお、次の場合には投票または被記名者が無効となりますので、ご注意ください。

- 1) 投票用紙に11名以上連記した場合。ただし10名以下の場合は無効です。
- 2) 投票者の氏名が送付用封筒に記入されていないとき。
- 3) 日本分子生物学会細則第7条3項により、以下の方は連続して評議員になることができませんので、今回は記名しないで下さい。なお、この方々に投票のあった場合には、その方に関してのみ、無効といたします。

池田日出男、大坪栄一、小川智子、勝木元也、本庶 佑、山本 雅

2002年11月1日

日本分子生物学会選挙管理委員会
荒木 弘之
広瀬 進
佐々木裕之

〈参 考〉

会 則（抜すい）

第10条 本会には、会長1名、評議員若干名、会計監査2名の役員をおく。

1. 会長は本会を代表し、会務を統括する。
2. 評議員は評議員会を構成し、本会に関する諸事項を審議する。
3. 会計監査は本会の会計を監査する。

第11条 評議員は正会員の中から正会員の投票により選出される。会長は評議員の互選により定める。会計監査は評議員、幹事以外の正会員の中から評議員の投票により選出される。役員任期は2年とする。

細 則（抜すい）

第7条 評議員の選出は次のように行う。

1. 会長は正会員の中から3名を選んで選挙管理委員を委嘱する。
選挙管理委員会は選挙事務を行う。
2. 投票は1人1票、無記名10名連記とし、郵送によるものとする。
3. 評議員は連続して3回選出されることはできない。この制限に抵触する者の氏名は選挙要項に公告される。
4. 得票者中の上位の者より順に30名を選出する。同数得票者については選挙要項に従って順位を定める。

第8条 新会長の選任は次のとおり行う。

1. 会長は新評議員を招集する。新評議員の互選により新会長を選ぶ。
2. 投票は無記名单記とする。投票総数の過半数を得た者を新会長とする。
3. 投票総数の過半数を得た者がいないときは、高点順に2名をとり改めて投票を行い、最高点者を新会長とする。このとき同点の場合には抽選により決定する。
4. 会長は連続して3回選出されることはできない。
5. 会長は評議員を兼ねるものとする。

◆日本分子生物学会2001年度会計収支決算報告

2001年度学会会計収支決算は以下の通りになりましたので報告いたします。

(第12期 会計幹事 仁木宏典)

日本分子生物学会 2001年度収支決算報告書

(2001年4月1日 ~ 2002年3月31日)

収入の部

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
学 会 費	42,210,000	46,086,580	正会員会費： 33,348,550円 (2001：4500円 × 7038名、他：1,677,550円)
賛 助 会 費	1,350,000	1,350,000	学生会員会費： 10,146,500円 (2001：3000円 × 3035名、他：1,041,500円)
預 金 利 子	120,000	107,585	海外会員会費(198名)： 792,030円
雑 収 入	50,000	104,000	入会金(1799名分、他差額入金) 1,799,500円
寄 付 金 収 入	0	4,000,000	第24回山本年会長より
収入小計	43,730,000	51,648,165	
前年度繰越金	25,638,185	25,638,185	
合 計	69,368,185	77,286,350	

支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
事 業 費	21,800,000	22,583,096	
会報発行	3,000,000	2,592,165	
年会補助金	5,000,000	5,000,000	
春季ソングラム補助金	4,000,000	7,000,000	
国際誌発行支援金	4,000,000	4,000,000	
// オンラインアクセス費用	3,500,000	3,350,000	ブラックウエル社支払い
国際誌購読関係費	1,000,000	640,931	
ホームページ関係費	300,000	0	
その他	1,000,000	0	
評 議 委 員 会 費	1,000,000	1,016,076	
委員会費	1,000,000	1,016,076	
選挙・名簿作成費	0	0	
業 務 委 託 費	11,000,000	13,463,320	
一 般 事 務 費	11,000,000	11,525,088	
印刷費	400,000	177,889	
通信費	9,600,000	10,356,559	プログラム、会報等郵送料
庶務事務費	650,000	650,000	
雑 費	350,000	340,640	
予 備 費	2,000,000	0	
支出小計	46,800,000	48,587,580	
次年度繰越金	22,568,185	28,698,770	
合 計	69,368,185	77,286,350	

◆2001年度会計監査報告

日本分子生物学会2001年度収支決算報告に際し、会計帳簿、銀行残高証明書、領収書、日本学会事務センター出納記録などの監査を行い、決算に誤りのないことを確認しました。

日本分子生物学会第12期会計監査

2002年7月30日 辻 本 賀 英 ㊦

2002年7月30日 滝 澤 温 彦 ㊦

◆第25回（2002年）日本分子生物学会年会のお知らせ（その3）

第25回日本分子生物学会年会は、2002年12月11日（水）から14日（土）までの4日間、パシフィコ横浜 会議センター・展示ホールで開催されます。奮ってご参加ください。

本年度年会の概要は次の通りです。詳細は、同封のプログラムを参照してください。

会 期：2002年12月11日（水）～14日（土）
会 場：パシフィコ横浜 会議センター・展示ホール
（横浜市西区みなとみらい1-1-1）

参加受付：2002年12月11日（水）午前8時10分より
当日参加費：正会員 10,000円、学生会員 7,000円、非会員 11,000円
（受付はパシフィコ横浜 会議センターの2階に設けております）

発表について

シンポジウム・ワークショップ

本年度はシンポジウムとワークショップが並行して進行するプログラムとなっております。

12月11日（水）～14日（土）9：00～11：30および13：45～16：15

シンポジウム30テーマ： 演題数 182件

ワークショップ68テーマ： 演題数 536件

（うち一般演題から155件が採用されました）

一般演題（ポスター）

12月11日（水）～14日（土）9：00～18：30（14日は、9：00～15：45）

（演題数 3,294題）

（説明・討論 初日～3日目は16：30～18：30、第4日目は13：45～15：45）

今年は、ポスターの掲示を2日間としておりますので、発表者の方には、前半・後半のどちらか2日間、ポスターを掲示をしていただくことになります。

特別講演：12月11日（水）～13日（金）
A会場（会議センター1階 メインホール）

12月11日（水）

- 9 : 30～10 : 25 柳田敏雄 教授 (阪大・院医)
 10 : 30～11 : 25 Dr. Allan Bradley (The Wellcome Trust Sanger Inst.)
 12月12日 (木)
 9 : 30～10 : 25 廣川信隆 教授 (東大・院医)
 10 : 30～11 : 25 Dr. Gary Felsenfeld (NIH)
 12月13日 (金)
 9 : 30～10 : 25 柳田充弘 教授 (京大・院生命科学)
 10 : 30～11 : 25 Dr. Steve Kay (The Scripps Res. Inst.)

市民公開講座：12月14日 (土) 13 : 00～ 展示ホール アネックス

テーマ：「わかりやすい分子生物学と生命科学の最先端—生き物を遺伝子で語る時代がやってきた！—」

低年齢層の理科離れが危惧されておりますが、最先端の生命科学・高度な分子生物学を一般社会に分かりやすく伝え、人材の育成とともに最先端の科学技術への理解と啓蒙を促すことを目的に、特に高校生とその父兄および高校教諭を対象とした公開講座を開催いたします。

講 師：

- 萩原清文 (日赤医療センター) 「好きになる分子生物学」
 楠見明弘 (名大・院理) 「1分子をつかまえて細胞と綱引きをする
 —カオスと制御のバランスによって働く細胞膜—」
 入谷 明 (近畿大・生物理工) 「遺伝子工学による家畜の改良」
 榎 佳之 (東大・医科研) 「ゲノムを通してヒトを理解する」

バイオテクノロジーセミナー

12月11日 (水)～14日 (土) 12 : 00～13 : 30 35テーマ
 ランチョンセミナーの形式で行います。

講演要旨集

講演要旨集は、11月25日 (月) に発行を予定しております。年会に参加を申込まれた方 (参加費に講演要旨集1冊の代金が含まれています)、および講演要旨集を申込まれた方には事前にお送りいたします。

年会期間中の宿泊のご案内

本年会での宿泊予約業務は、東急観光に依頼しております。会報 No. 72に綴込んだ「宿泊ホテルのご案内」をご利用下さい。お申込・問合せは下記に直接ご連絡下さい。

〒220-6217 横浜市みなとみらい2丁目3番5号
 クイーンズタワー C-17階
 東急観光㈱ 神奈川団体旅行支店
 「第25回日本分子生物学会年会宿泊係」担当：桑名、斎藤、角田
 Fax : (045)226-1957 Tel : (045)226-1953
 E-mail : kanagawadantai4@tokyu-tour.co.jp

年会に関する問合せ先

第25回日本分子生物学会年会 事務局
〒560-0082 豊中市新千里東町1-4-2
千里ライフサイエンスセンタービル14階 学会センター関西内
Tel : (06)6873-2301 Fax : (06)6873-2300
E-mail : bunshi25@bcasj.or.jp

なお、年会会期中の関連諸会議については、会場にまだ余裕がありますので、上記までお問合せください。会議室は、スクール形式で30名（シアター形式で50名程度）の部屋の他、口の字型で20名程度の部屋が数室あります。ただし、慣例により会場費は無料ですが、発表機材費、食事・飲物代等の費用は会議側で負担していただきます。

年会期間中の保育室開設のお知らせ

本年度も下記の要領で保育室および親子休憩室を開設いたします。

[保育所の開設]

期 間：2002年12月11日（水）～14日（土）の4日間

保育時間：年会プログラム開始時間の30分前（午前8時30分）～ポスターセッション終了時間の30分後（午後7時、4日目は午後4時15分）を予定
ただし、昼食時はお子さまをお迎え下さい。

規 模：約20名（各日）

対 象：生後8週以降から小学校3年生まで

施 設：パシフィコ横浜・会議センター会場内の1室

保育形態：ベビーシッター会社よりシッターを派遣してもらう。

委 託 先：㈱アルファ・コーポレーション（24回年会の際のシッター会社です）

保 育 料：保育室の運営費は、一部を利用者負担、一部を年会からの補助でまかなう予定です。利用者の負担としては 0歳児：800円/時間、1歳児以上：600円/時間です。

申込み先：予約を原則とします。

以下の項目をメールにお書き添えの上、アルファ・コーポレーションまで直接お申込み下さい。

メールアドレス：yoyaku@alpha-co.com

- 1) 保護者氏名・所属・連絡先（含む携帯電話番号）
- 2) 子供の人数・年齢・名前（愛称も）
- 3) 保育希望日時
- 4) 保育上の注意点

申込締切：2002年11月30日（土）

ただし、定員を超えた場合はお断りすることがありますので、予めご承知置き下さい。

なお、不測の事故に対応するために、シッター会社が保険に加入しており、保険適用範囲では補償されますが、日本分子生物学会および第25回年会組織委員会は、事故の責任を負わないことを申し添えます。

[親子休憩室の開設]

期 間：2002年12月11日（水）～14日（土）の4日間

年会プログラム開始時間の30分前～ポスターセッション終了時間の30分後

場 所：パシフィコ横浜会議センター 4階424号室

パシフィコ横浜展示場 2階E 202号室

予約は不要ですので、お子さんと一緒に食事や休憩、あるいはオムツ換えなどに、自由にご利用下さい。ただし、お子さん単独でのご利用はご遠慮下さい。また、今後の参考に利用状況の調査を行います。利用された方は、部屋に備え付けのアンケート用のノートに利用者のお名前、所属、お子さんの人数、利用時間、その他意見などを記入して下さいますようお願いいたします。

なお、親子休憩室内で起きた事故や怪我に対して、日本分子生物学会および第25回年会組織委員会は、一切の責任を負わないことを申し添えます。

◆第25回総会のご案内

第25回年会の第3日目に、日本分子生物学会第25回総会を、下記の要領により開催いたしますので、多くの会員のご出席をお願いいたします。

(会長 小川 智子)

記

日 時：2002年12月13日（金）18：30～19：30

場 所：パシフィコ横浜 会議センター メインホール（1階；A会場）

（ご欠席の会員はこの会報に添付されている委任状をご提出ください）

◆第3回日本分子生物学会春季シンポジウムのご案内

第3回春季シンポジウムを米子市で開催することになりました。内容については現在準備中ですが、予定している計画の概要をお知らせします。皆様方のご協力と多数のご参加をお願いいたします。学生の方にはできるだけ多く参加していただくため、学生には参加費をいただかない方向で検討しています。前日（5月11日）には市民公開講座を開き、再生医療や老化等について分かりやすく講演していただく予定です。

会 期：2003年5月12日（月）～13日（火）

会 場：米子コンベンションセンター（鳥取県米子市）

発表形式：1. 約15名の講師による口答発表（2001～2002年度にかけて、目覚ましい研究成果を発表された方々に講演を依頼の予定）。

2. 参加者によるポスター発表

オーガナイザー：押村光雄、佐藤建三、林 眞一、栗政明弘（鳥取大学医学部生命科学科）

問合せ・連絡先：

〒683-8503 米子市西町86

鳥取大学医学部生命科学科 押村光雄

E-mail：oshimura@grape.med.tottori-u.ac.jp

Tel：(0859)34-8261 Fax：(0859)34-8134

◆学術賞、研究助成の本学会推薦について

本学会に推薦依頼あるいは案内のある学術賞、研究助成は、会報 No. 71（2月号）に一覧として掲載しております。そのうち、応募にあたり学会等の推薦が必要なものについての本学会からの推薦は、本学会選考委員会または賞推薦委員会の審査に従って行います。応募希望の方は、直接助成先に問合せ、申請書類を各自お取寄せ下さい。

本学会への推薦依頼の手続きは次の通りです。

1. 提出物

- 1) 本申請に必要な書類（オリジナルおよび募集要項に記載されている部数のコピー）
- 2) 本学会の5名の選考委員用および学会控に、上記申請書類のコピー計6部（論文は不要）
- 3) 申込受付確認のための葉書（返信用の宛名を記入しておいて下さい）

2. 提出先

※賞推薦についての送付先

日本分子生物学会 賞推薦委員長 花岡 文雄

〒565-0871 吹田市山田丘 1-3 大阪大学大学院生命機能研究科

Fax: (06)6877-9382

※研究助成についての送付先

日本分子生物学会 研究助成・選考委員長 岡田 清孝

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学大学院理学研究科

Fax: (075)753-4257

3. 提出期限

財団等の締切の1カ月前まで。提出期限後に受け取った場合や、提出書類が不備な場合は、選考の対象にならないことがあります。

○2003年度山田科学振興財団研究援助候補推薦要項

1. 援助の趣旨および内容

- 1) 本財団は、自然科学の基礎的研究に対して研究費の援助をいたします。実用指向研究は援助の対象としません。
- 2) 援助額は1件当たり100～500万円、総額4,000万円、援助総件数は10件程度ですが、学会からの推薦および本財団関係者からの個人推薦の中から選考いたします。
- 3) 援助金を給与に充てることはできませんが、特に財団が指定した場合を除き、他の用途は自由です。
- 4) 援助金の使用期間は、贈呈した年度およびその次の年度の計2年間とします。

2. 推薦方法

- 1) 推薦者：本財団が依頼した学(協)会の代表者
- 2) 推薦件数：1推薦者ごとに2件以内
- 3) 推薦手続：推薦者は、以下の書類を整え、ご送付ください。
 - ①所定の推薦書用紙またはその写しに必要事項を記入したもの 4部
 - ②添付書類（研学（'03）—5/8ページ参照）

3. 記載上の注意

- 1) 紙面不足のときには、同型同大の別紙で追加してください。
- 2) 代表研究者は、所属のある場合、当該所属の長から本援助の申込みをすることについての承諾を得てください。

4. 推薦締切期日

本財団に推薦書が到着する締切期日は2003年3月31日です。

5. 選考方法

選考委員会において選考の上、理事会が決定します。

6. 選考結果の通知

2003年7月末までに推薦者および代表研究者等宛て文書にて通知します。

7. 援助金の贈呈

選考結果の通知後適時銀行振込にて贈呈いたします。

8. 推薦書送付先および連絡先

財団法人 山田科学振興財団 (Yamada Science Foundation)

〒544-8666 大阪市生野区巽西1丁目8番1号

Tel: (06)6757-3311 (代表)

9. 研究の成果および会計の報告

援助金の受領者には、後日当財団の連絡に基づき、研究経過、研究成果、会計について報告書の提出および研究交歓会での発表をしていただきます。

10. 付 記

- 1) 援助金の使途を変更する場合には、予め本財団の承諾を得てください。
- 2) 研究成果を文書によって発表される際には、本財団（財団法人 山田科学振興財団、Yamada Science Foundation）の援助による旨を記載し、報文の類にあってはその別刷1部、また著書の類にあってはその1部をご寄贈願います。
- 3) ご提出いただきました推薦書および添付書類は、お返しいたしません。

◆各種学術集会、シンポジウム、講習会等のお知らせ

○第12回アンチセンスシンポジウム

日時：2002年11月28日（木）・29日（金）
場所：千里ライフサイエンスセンター
（豊中市新千里東町1-4-2 地下鉄御堂筋線 千里中央駅下車）
主催：大阪大学医学系研究科遺伝子治療学教室
プログラム：
シンポジウム1「RNAiの基礎と応用（仮題）」
コーディネーター：多比良和誠（東大・院工）
シンポジウム2「標的化をめざした徐放化システムの開発—核酸医薬とDDS技術—（仮題）」
コーディネーター：田畑泰彦（京大・再生研）
金田安史（阪大・遺伝子治療）
一般演題（口演およびポスター）

参加人数：200名
参加登録費：会 員（当日登録）
一般8,000円 学生3,500円
非会員（当日登録）
一般9,000円 学生4,000円
問合せ先：第12回アンチセンスシンポジウム事務局
〒541-0042 大阪市中央区今橋4-4-7
日本コンベンションサービス㈱内
Tel：(06)6221-5933 Fax：(06)6221-5938
E-mail：anti@convention.co.jp
URL：http://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/gts/division/r_08.htm

○青色光生物効果IV（The Blue Light Syndrome IV）

岡崎国立共同研究機構、基礎生物学研究所、平成14年度研究会との合同会議として岡崎コンファレンスで開催されます。
本会議は第1回1979年、第2回1983年、第3回1996年にHorst Senger教授により、ドイツのマールブルグ、フィリップス大学にて開催されてきました。本会議は第4回、2002年となります。興味のある方は奮ってご参加下さい。
日時：2002年12月16日（月）～18日（水）

場所：岡崎コンファレンスセンター
（国立岡崎共同研究機構内）
主催：The Blue Light Syndrome IV 組織委員会
問合せ先：〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町641-12
横浜市立大学木原生物学研究所
蓮沼仰嗣
Tel：(045)820-1903 Fax：(045)820-1901
E-mail：bls2002@yokohama-cu.ac.jp

○千里ライフサイエンスセミナー ブレインサイエンスシリーズ第15回 「運動神経疾患の治療をめざす基礎と臨床の最先端」

日時：2002年12月6日（金）10：00～17：00
場所：千里ライフサイエンスセンタービル5階
サイエンスホール
（豊中市新千里東町1-4-2 地下鉄御堂筋線 千里中央駅下車）
主催：財千里ライフサイエンス振興財団
着眼点：脳卒中や脊髄損傷で失われた運動機能は取り戻すことができるのだろうか。進行する神経変性疾患をくいとめ運動機能を維持することはできるのだろうか。このような神経疾患において、神経細胞の温存や補充による再生医学の戦略を基礎と臨床の第一人者に解説いただく。
コーディネーター： 木山博資（阪市大・院医）
遠山正彌（阪大・院医）
プログラム：
1. はじめに 木山博資（阪市大・院医）
2. 損傷運動ニューロンの生と死 瀬尾寿美子（阪市大・院医）
3. 中枢神経の軸索再生のメカニズム 山下俊英（阪大・院医）
4. ES細胞からの運動神経前駆細胞の分化誘導 島崎琢也（慶大・院医）
5. 内在神経前駆細胞を用いた損傷脊髄再生の試み 中福雅人（東大・院医）
6. 家族制ALSの病因と治療法について

佐古田三郎（阪大・院医）
7. 脳卒中後不随意運動の脳内植え込み電極による制御 片山容一（日大・院医）
8. おわりに 遠山正彌（阪大・院医）
参加費：会 員：（大学、官公庁、当財団の賛助会員）
：3,000円
非会員
：5,000円
学 生
：1,000円
定 員：200名
申込方法：氏名、勤務先、所属、〒住所、TEL、FAX番号を明記の上、郵便、FAXまたはE-mailで下記宛お申込み下さい。事務局より受付の通知を返送いたしますので、そこに記載した振込先口座に参加費をお振込みください。入金確認後、通常2週間以内に領収書兼参加証をお届けいたします。
申込締切：定員になり次第締切です。
申 込 先：千里ライフサイエンス振興財団セミナー（B15）係
〒560-0082 豊中市新千里東町1-4-2
千里ライフサイエンスセンタービル8階
Tel：(06)6873-2001 Fax：(06)6873-2002
E-mail：tnb-lsf@senri-lc.co.jp
URL：http://www.senri-lc.co.jp
（注：アドレスの読み誤りが多発しています。lsfは「エルエスエフ」、lcは「エルシー」です。）

○第13回抗ウイルス化学療法研究会

日時：2003年1月27日(月)～1月29日(水)
場所：千葉工業大学津田沼校舎7号館1階
(JR津田沼駅前)
共催：日本分子生物学会
発表申込締切：2002年11月20日(水)
予稿原稿締切：2002年12月20日(金)
参加登録予約申込締切：2003年1月10日(金)
発表内容：「抗ウイルス化学療法」をキーワードに討論する。
特別講演、一般講演：口頭発表(講演、討論を含め15分)
発表申込方法：
A4判大の用紙に(1)演題、所属(和文と英文)
(2)氏名(3)連絡先(住所、電話、Fax、E-mail)
(4)200字程度の要旨を下記の連絡先まで、郵便でお申込み下さい。なお、プログラム編成等については世話人会にご一任下さい。
予稿原稿：詳細は申込者に連絡します。
参加登録費：事前登録：一般4,000円、学生2,000円

当日登録：一般5,000円、学生3,000円
懇親会：2003年1月28日(火)18:00～
参加登録予約申込方法：
氏名、所属、連絡先(住所、Tel、Fax)を明記の上、郵便またはFaxにて下記宛へ、参加費は申込みと同時に下記にお振込下さい。
<振込先>
東京三菱銀行船橋支店
普通預金口座 1742171
第13回抗ウイルス化学療法研究会
申込・問合せ先：
第13回抗ウイルス化学療法研究会
高久 洋
〒275-0016 習志野市津田沼2-17-1
千葉工業大学工業化学科内
Tel：(047)478-0407 Fax：(047)471-8764
E-mail：takaku@ic.it-chiba.ac.jp

○千里ライフサイエンスシンポジウム「再生医学：実現への期待と課題」

日時：2003年2月7日(金)10:00～17:00
場所：千里ライフサイエンスセンタービル5階
ライフホール
(豊中市新千里東町1-4-2 地下鉄御堂筋線 千里中央駅下車)
主催：財千里ライフサイエンス振興財団
協賛：財千里ライフサイエンスセンター
着眼点：再生医学が近未来医療として脚光をあびている。しかし、その実現のためには克服すべき課題が数多く残されている。再生医学研究の現状と問題点を、幹細胞、医用工学、実用化、倫理などさまざまな側面から取り上げる。
コーディネーター： 仲野 徹(阪大・微研)
岩田博夫(京大・再生研)
プログラム：
1. 幹細胞からみた再生医学 仲野 徹(阪大・微研)
2. 組織工学と幹細胞研究から再生医療へ 岩田博夫(京大・再生研)
3. 膵β細胞の再生にむけて 宮崎純一(阪大・院医)
4. 幹細胞からの網膜細胞誘導 高橋政代(京大・探索医療セ)
5. 成体幹細胞を応用した再生医療と創薬の現状と課題 桜田一洋(協和発酵)
6. 幹細胞研究の倫理的・社会的問題

加藤和人(京大・人文科学研)
参加費(講演要旨集を含む)：
会 員：(大学、官公庁、当財団の賛助会員) 3,000円
非会員 5,000円
学 生 1,000円
定 員：300名
申込方法：氏名、勤務先、所属、〒住所、TEL、FAX番号を明記の上、郵便、FAXまたはE-mailで下記宛にお申込み下さい。事務局より受付の通知を返送いたしますので、そこに記載した振込先口座に参加費をお振込みください。入金確認後、通常2週間以内に領収書兼参加証をお届けいたします。
申込締切：定員になり次第締切ます。
申 込 先：千里ライフサイエンス振興財団シンポジウム(S12)係
〒560-0082 豊中市新千里東町1-4-2
千里ライフサイエンスセンタービル8階
Tel：(06)6873-2001 Fax：(06)6873-2002
E-mail：dnp-lsf@senri-lc.co.jp
URL：http://www.senri-lc.co.jp
(注：アドレスの読み誤りが多発しています。lsfは「エルエスエフ」、lcは「エルシー」です。)

○千里ライフサイエンスセミナー「ファーマコジェノミクスと臨床的エビデンス」

日時：2003年2月27日（木）10：00～17：00
場所：千里ライフサイエンスセンタービル5階
ライフホール
（豊中市新千里東町1-4-2 地下鉄御堂筋
線 千里中央駅下車）

主催：㈱千里ライフサイエンス振興財団
協賛：㈱千里ライフサイエンスセンター
コーディネーター：東 純一（阪大・院薬）
プログラム：

1. SNP 解析を応用した臨床研究と医薬品適正使用
一圓 剛（ヒュービットジェノミクス㈱）
2. CYPs の薬理遺伝多型の治療学的エビデンス
石崎高志（熊本大・院薬）
3. 精神疾患とファーマコジェノミクス
染矢俊幸（新潟大・院医歯）
4. 薬物トランスポーターの薬物動態的・生理的役割と
遺伝子多型
玉井郁己（東京理科大・薬）
5. 抗悪性腫瘍薬のファーマコジェノミクスと臨床的応
用
佐々木康綱（埼玉医大）
6. 循環器薬の標的分子とクリニカルファーマコジェノ
ミクス
檜垣実男（愛媛大・医）

参加費（講演要旨集を含む）：

会 員：（大学、官公庁、当財団の賛助会員）
：3,000円
非 会 員
学 生
：5,000円
：1,000円

定 員：300名

申込方法：氏名、勤務先、所属、〒住所、TEL、FAX
番号を明記の上、郵便、FAX または E-mail
で下記宛お申込み下さい。事務局より受付
の通知を返送いたしますので、そこに記載
した振込先口座に参加費をお振込みくださ
い。入金確認後、通常2週間以内に領収書
兼参加証をお届けいたします。

申込締切：定員になり次第締切ます。

申 込 先：千里ライフサイエンス振興財団セミナー（R
3）係

〒560-0082 豊中市新千里東町1-4-2
千里ライフサイエンスセンタービル8階
Tel：(06)6873-2001 Fax：(06)6873-2002
E-mail：sng-lsf@senri-lc.co.jp

URL：http://www.senri-lc.co.jp

（注：アドレスの読み誤りが多発しています。
lsfは「エルエスエフ」、lcは「エルシー」で
す。）

○国際ワークショップ「FGFs and Their Receptors in Health and Disease」

日時：2003年10月12日（日）～15日（水）
場所：神戸インスティテュート
（神戸市灘区五毛字丸山53-1）
定 員：約100名（日本人約30名）
テ ー マ：FGF とその受容体の構造と機能及び生理的
役割（発生・分化、病態等）
内 容：一般演題 30～40題（日本人講演 約10題）
演題未定
ポスター 希望者

組織委員：伊藤信行（京大）、David Ornitz（アメリカ）、
Sabine Werner（スイス）、Clive Dickson
（イギリス）、John Heath（イギリス）、
Andrew Wilkie（イギリス）

問合せ先：〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町
京都大学薬学研究所
伊藤信行
E-mail：itohnobu@pharm.kyoto-u.ac.jp

◆その他

○畜産技術協会が2003年度に委託する研究開発課題を募集します

(社)畜産技術協会では2003年度に委託する畜産技術に関連した研究開発課題を次のとおり募集（2002年度内に募集、審査を実施）します。

対象課題：

「食料・農業・農村基本法」により国が定める畜産に関連する各種の計画や目標に対応し、食料の自給率向上、安定供給および農業の持続的発展、農村振興に資する次のような目的・目標の課題。

- 1) 畜産の生産性向上
- 2) 高品質・安全で特色ある畜産物の生産
- 3) 環境にやさしい畜産
- 4) ゆとりある安定的な畜産

委託の期間および金額：

原則として、1課題につき2年間の総額で500万円以内（単年度の場合は250万円以内）とします。

委託契約・委託費の交付は単年度ごとに行い、当協会内の「審査委員会」の評価および課題担当者の自己評価により、評価し得る成果が得られる見込みのあると判定された場合には、次年度分の委託を継続するものといたします。

委託の条件：

- 1) 委託する研究開発課題の担当者の所属は、大学・民間企業・団体等としますが、委託契約等は、当協会と担当者が所属する機関の代表者との間で締結します。
- 2) 委託した当該年度ごとに、所定の報告書を当協会宛ご提出いただきます。
- 3) 委託期間終了後学会誌等に、得られた成果を当協会からの支援によったことを記載した論文等により公表することといたします。なお、課題の性格によっては、その成果がマス・メディアに取り上げられる等により広報あるいは商品として発売されることを条件といたします。
- 4) 他の公的機関等が募集する同種のものへ応募している場合、あるいはすでに外部から同一課題で委

託を受けている場合は委託できません。

- 5) この資金により特許等を取得した場合、その特許権は原則として当協会に帰属し、開発者には優先使用権を与えるものといたします。

また、収益を得た場合は、その一部納付の義務が生じます。

- 6) 20万円以上の備品を購入することはできません。

応募方法：

応募要領と所定の申込み様式を下記問合せ先に請求の上、2002年12月27日（金）[当協会必着]までに郵便にてお申込み下さい（ファックスおよび電子メールでの受付はいたしません）。

応募課題の審査方法：

当協会内部で一次評価を行った上、「企画審査委員会」の審査を経て選定します。選考は提出書類によりますが、必要に応じ現地調査等を行います。

応募課題の採否については、2003年3月上旬を目処に応募者本人宛文書にて直接ご連絡いたしますが、ご応募いただきました書類等の返却はいたしません。

採択された場合の手続き等：

採択することが内定した研究開発課題につきましては、当協会が定める委託等実施要領の規定により、2002年度中に事業実施計画書のご提出をいただき、2003年4月以降に委託契約の締結、委託費の交付等事務手続きを行うことといたしております。

採決課題の担当者名等は、原則として契約締結・委託費交付後に公表いたします。

問合せ先：〒113-0034 文京区湯島3-20-9

(社)畜産技術協会 研究開発第一部

針生、御代田

Tel：(03)3836-2301 Fax：(03)3836-2302

E-mail：jlta@oregano.ocn.ne.jp

URL：jlta@group.lin.go.jp

新入会用 Web site URL : <http://bunshi.bcasj.or.jp/>

日本分子生物学会 会報

年 3 回刊行

第73号 (2002年11月)

発 行 : 日本分子生物学会 庶務幹事

製 作 : 学会センター関西

(財)日本学会事務センター 大阪事務所